

報告第26号

令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業並びに
決算の報告について

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業並びに決算について、別紙のとおり報告する。

令和4年9月21日提出

宇治市長 松村 淳子

4公財宇野活第63号

令和4年6月30日

宇治市長 松村 淳子 様

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉本厚夫



令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告および決算報告について

令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告および決算報告に
ついて、別紙のとおり承認されましたので報告します。

議案第1号

令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について

令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について、別紙
のとおり承認を求める。

令和4年6月26日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉本厚夫



令和3年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告書

令和3年度 公益財団法人宇治市野外活動センター 事業報告書

1. 年度総括

豊かな自然を生かし、市民各層の交流と余暇の有効活用を図るとともに、山間地域の振興を図る、という宇治市総合野外活動センターの目的や、平成25年に策定した長期運営計画に基づき、Make it together をテーマに計画的・安定的な経営を行った。

各事業の実施にあたっては SDGs 目標「3:すべての人に健康と福祉を」や「4:質の高い教育をみんなに」等の SDGs の理念を取り込んだ事業を展開し、SDGs の取り組みを広め、公益性を高めた。

新型コロナウイルス感染症についても、職員とお客様の健康チェックや各所の消毒など日常的な対策の徹底をはじめ、京都府の「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」や一般社団法人日本旅行業協会等が作成した「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に基づく国内修学旅行の手引き」を参考に施設の感染予防対策を講じ、感染者が発生した場合も保健所や自治体と連携を図り適切に対応した。また、京都府の「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」に参加し、利用の促進を図った。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売、新型コロナウイルス感染症対策等、必要に応じて協議の場を設けた。

平成 29 年度からの指定管理契約最終年度となる令和 3 年度には指定管理者の公募に申請し、これまでの実績をもとに既存事業の見直しや新規事業の提案等、事業を一から見直し、「豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。」「自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。」「地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。」の 3 つの目標を中心とした計画を提案した結果、引き続き次期指定管理者に指定された。

2-1. 公益目的事業

(1) 活動支援事業

お客様が施設を利用されるにあたり、円滑な活動ができるよう、活動の紹介やオンラインでの情報発信などにより支援を行い、体験を希望される際には、その実施について調整を図った。

また、より充実した活動プログラムの開発を行うための野外活動等に関する最新情報の収集を行った。

(支援の例)天体観察での天文プログラムの実施、陶芸や木工作品等の創作活動の指導・助言、農業体験やふるさと体験等の紹介、ホームページ・メールインフォメーション・SNSによるイベントや施設の情報発信

(2) 野外活動奨励事業





参加無料のイベントを開催し、市民が気軽に野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に宇治市総合野外活動センターの利用が促進されることを目指した。






また、活動プログラムの充実を図るための最新情報の収集や、ホームページ、SNSでの情報発信を行った。



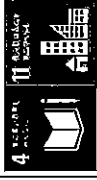

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、宇治市総合野外活動センターが募集するプログラムに関しては万が一の際追跡できるように連絡先を記入していただいた。

◎ 野外活動奨励事業(令和3年度総参加者総数 3,868名)

※ 令和2年度総参加者数 3,683名

実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
4月2日(金)	春のグラウンド・ゴルフの日&講習会	日頃のグラウンド・ゴルフ利用者に感謝の気持ちを込めて、1日無料でプレーしていただける日を設けるとともに、新たにグラウンド・ゴルフを始めようと思っている方を対象に、基本のプレーの仕方及び、宇治市総合野外活動センターの大会参加方法などを含め、30分間の講習会を行った。 参加 100名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
4月4日(日)	春のひろば(中止)	桜が見頃の時期に地元特産品の販売や市民グループ・障害者施設の出店を行うことで、市民が自然に親しむ機会を創出し、地域振興・交流の機会につなげる予定だったが、雨天中止となった。 参加 0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
6月6日(日)	アクトパルであそぼう!(中止)	新緑の時期にスタンブラリー、丸太切り体験、工作などの自然豊かな施設の特徴を生かした多彩なイベントを実施することによって、市民が自然に親しむ機会を創出する予定だったが、コロナの影響による施設休止のため中止となった。 参加 0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	 

実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
8月7日(土)～ 9日(月・振休)	山であそぼう！	<p>密を避けるために3日間に分散して開催した。子ども達を対象にした「川の生き物調査隊」では、笠取川にどんな生き物がいるかを調べてもらったり、虫に詳しい高校生を講師に標本作りの実演など、山川の自然を身近に感じてもらう機会とした。</p> <p>参加 139名(3日間合計)</p>	令和2年度 267名 (3日間合計)	
9月3日(金)	秋のグラウンド・ゴルフの日&講習会	<p>グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、初心者向け講習会を開催することで、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図る予定だったが、コロナの影響による施設所のため中止となった。</p> <p>参加 0名</p>	令和2年度 29名	
10月10日(日) 予備日 10月17日(日)	秋のひろば	<p>地元及び関係団体、市内福祉施設の方にご協力いただき、やきいもや特産品の販売・手作りの販売・陶芸の展示即売・クイズラリー・笠取小学校の子ども達による和太鼓演奏・陶芸クラブ作品展覧会を行った。コロナ対策として、いもほり・野菜の収穫・コマ作りなどは先着順で整理券制とし、人数を制限して行った。</p> <p>参加 2,094名</p>	令和2年度 2,160名 (2日間開催)	
10月31日(日)	ハロウィンをたのしもう！	<p>ハロウィンの時期に合わせて、かぼちゃの飾りの工作・仮装の作り・ファッションショーなどを通じて風習や手作りの楽しさを味わえるイベントを実施した。</p> <p>参加 158名</p>	令和2年度 309名	
12月～ 令和4年2月	わいわいホリデー(全15回)	<p>ゆったり過ごしてもらえる館内のホールで、季節にちなんだ工作を盛り込み、「冬でも楽しめる」アクパルの広報と冬場での楽しさを提供した。</p> <p>簡単に作って遊べるブーメランや塗り絵、月替わりの有料工作、大浴場の無料開放を行い、冬期の集客を目指した。</p> <p>参加 1,134名</p>	令和2年度 867名 (全9回実施)	




実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
12月12日(日) 令和4年 1月9日(日) 1月10日(月・祝) 2月20日(日)	体育館であそぼう(全4回)	体育館を無料開放して、冬でもスポーツを楽しめる場を提供し、アクトパルの体育館を知ってもらう機会にした。密を避けるために整理券制にしたり、道具を使う際の消毒の案内を徹底した。 参加 180名(4回合計)	令和2年度 51名 (1回実施)	
1月～2月 (毎週土曜日)	笠取交湯会(全8回)(中止)	笠取地域の住民を対象に大浴場を開放することにより、交流の場を提供し、地域との結びつきを深める予定だったが、コロナの影響を受け、地元の方の安全を考慮し、目的を達成することが困難と判断し中止とした。 参加 0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
1月8日(土)	獅子舞演舞&もちつき	炭山の市民グループ「自然と文化の会」による獅子舞の演舞と杵と臼でつくもちつき大会で、古くから受け継がれる伝統や風習を学ぶ機会を設けていたが、コロナの影響で獅子舞の活動をされおられなかつたため中止となった。 参加 0名		
1月15日(土) 2月26日(土)	星空オープンデー(全2回)	施設内の望遠鏡などの天体観察設備の特長を生かし、星空に関心を持ってもらうために、天体観察施設を開放した。密を避けるために整理券制とし、冬の天文現象に応じたテーマで星空解説や観望を行った。 参加 63名(2回開催)	令和2年度 0名 (コロナで中止)	

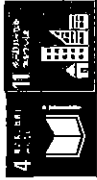


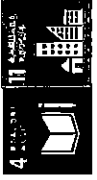
(3)活動体験事業





丁寧なサポートと充実したプログラムを提供するために、定員を設けた有料イベントを企画・実施し、生涯学習の推進を図った。新型コロナウイルス感染防止対策として、募集定員を半数に縮小、施設利用時の参加者同士の距離確保、プログラムを短時間化、参加家族同士の交流も避け、感染発覚時に参加者の追跡ができるようにした。イベント時は検温・体調確認・手洗い・消毒・マスクの着用・ソーシャルディスタンス確保を徹底した。






◎活動体験事業(令和3年度総参加者数 1,424名)









※令和2年度総参加者数 2,147名






実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
4月24日(土) 6月19日(土)	(令和2年度事業) 畑体験つづき(収穫)	令和2年度の11月に玉ねぎの苗植え、3月にじゃがいもの種いも植えで行ったものの収穫をした。施設休所のためイベントとして集まることができなかつたので、参加者に向けて収穫の仕方をオンライン配信し、参加者各自で収穫してもらった。 参加 12組 46名	令和2年度 45名 (6月のじゃがいも収穫のみ)	
4月25日(日)	春の野草探しとヨモギだんごづくり (中止) 募集 6組 24名	施設内での野草摘みを通じて、食用にできる植物を説明し、実際に摘んだヨモギを材料にしたヨモギだんごを調理したり、野草茶作りを楽しんでもらう予定だったが、コロナの影響による施設休所のため中止した。 応募 45組 167名 / 参加 0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
5月4日(火・祝) 5日(水・祝) ※9月に稲刈り収穫体験	田んぼ体験～田植え&稲刈り～(中止) 募集 4日:10組 40名 / 5日 10組 40名	地元農家の協力により、田んぼで田植えと稲刈りの両方を経験し、植えた稲苗が田んぼで育つ観察と、昔ながらの稲刈り等を行うことで自然の恵みを体感し、食べ物を大切にすることの醸成につなげるイベントを実施予定だったが、コロナの影響による施設休所のため中止した。 応募 4日:24組 84名 / 5日 29組 111名 参加 4日:0名 / 5日:0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	





実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
5月15日(土) 16日(日)	お茶つみ体験&茶団子づくり(中止) 募集 15日:6組24名/16日6組24名	研修室でお茶の歴史や種類、つみ方の説明をした後、施設内の茶畑で茶つみ・製茶体験と、電子レンジを使った茶だんご作りにも挑戦し、お茶と一緒に試食してもらおう予定だったが、コロナの影響による施設休所のため中止した。 応募 15日:21組76名/16日52組187名 参加 15日:0名/16日:0名	令和2年度0名 (コロナで中止)	
5月30日(日)	アクトパルde サバイバル(中止) 募集 6組24名	何種類かの道具を使って火おこし体験やシェルトア作りなど、参加家族同士が協力しあいながら楽しめる内容で行う予定だったが、コロナの影響による施設休所のため中止した。 応募 0名/参加 0名	令和2年度0名 (コロナで中止)	
6月26日(土) 27日(日)	じゃがじゃがクッキング 募集 26日:6組24名/27日:6組24名	(有)笠取ファームの畑でじゃがいも掘りと水菜の収穫を体験した。好きな調味料等を持ち込んでもらい、採れたてのじゃがいもと水菜を使った料理を楽しんでもらった。 応募 26日:17組66名/27日:26組92名 参加 6日:6組21名/27日:5組18名	令和2年度22名 (雨天のため、1日のみ)	
7月4日(日)	藍染をたのしもう！(新企画) 募集 6組24名	アクトパルで育てた藍の乾燥葉を利用し、藍染講師の指導で、ハンカチや綿の素材に模様をつける藍染の実技を通じて、伝統工芸に親しんでもらった。 応募 25組82名/参加 6組17名		





実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
7月17日(土) 18日(日)	流しそうめんセットをつくろう! 募集 17日:6組 24名/18日:6組 24名	家族ごとに竹を材料とした流しそうめんの台や食器作りを行った。モノ作りの楽しさを共有することにより、家族のぎずなを深める機会とした。 応募 17日:29組 108名/18日:61組 250名 参加 17日:6組 22名/18日:6組 21名	令和2年度 43名 (2日開催)	
7月22日(日) (2回開催)	陶芸教室～入門編 募集 AM:6組 24名/PM6組 24名	陶芸を始めたい人のために、初心者向けの教室を開催し陶芸に親んでもらうとともに、より上級の作品に取り組みめるように陶芸家に指導していただいた。予定した日程がコロナの影響による施設休所のため、延期して実施した。 応募 AM:22組 79名/PM:8組 26名 参加 AM:6組 20名/PM:5組 18名	令和2年度 45名 (2回開催)	
7月31日(土)	虫ムシ大作戦 募集 6組 24名	虫捕りや観察を通じて身近な自然に親しむため、より昆虫などの集まる夕方からの実施とし、ライトトラップを仕掛けたり、昆虫の観察をし、豊かな生態系を守ることの大切さを学ぶ機会とした。 応募 47組 135名/参加 6組 21名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
8月1日(日) (2回開催)	夏休み親子工作デー 募集 AM:5組 20名/PM:5組 20名	木工指導集団 WOODY MATE UJIの指導のもと、親子で課題作の「マンカラ」作りを行った。親子で協力して木工作品作りに取り組むことによる協力関係を築くきっかけ作りと、講師の指導による工作道具の正しい使い方なども学び、モノ作りの楽しさを体感してもらった。 応募 AM:17組 45名/PM:11組 31名 参加 AM:5組 15名/PM:5組 13名	令和2年度 14名 (1日で実施)	



実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
8月22日(日)	ちびっこアウトドア(中止) 募集小学生20名	学生ボランティアにご協力いただき、小学生を対象に野外炊事で昼食作りや、広場での集団遊びや川遊びなどを予定していたが、コロナの影響による施設休止のため中止となった。 応募 14組 21名 / 参加 0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
8月28日(土) ~29日(日)	家族 de キャンプ(中止) 募集 6組 24名	キャンプ初心者家族が気軽に参加できて、普段と違った環境の中での家族内の交流、キャンプやアウトドアに親しむ契機となることを目指すプログラムを組んでいたが、コロナの影響による施設休止のため中止となった。 応募 33組 116名 / 参加 0名	令和2年度 21名	
9月11日(土) 12日(日)	アウトドアクッキング(中止) 募集 11日:6組 24名 / 12日:6組 24名	地元のイタリア料理店シェフに生地作りから教わる窯焼きピザ作り体験を通じて、アウトドアでの料理を楽しみながら食育を学ぶ機会とす る予定だったが、コロナの影響による施設休止のため中止となった。 応募 11日:6組 22名 / 12日:19組 68名 参加 11日:0名 / 12日:0名	令和2年度 (2日間開催)	
10月23日(土) 24日(日)	いもほり&クッキング 募集 23日:6組 24名 / 24日:6組 24名	畑でいもほりをしたあと、炊事棟でダッチオーブンを使った石焼きいも、すいとん、さつまいもごはんなど、掘りたてのさつまいもを使ったアウトドアクッキングを楽しんでもらった。 応募 23日:28組 105名 / 24日:46組 182名 参加 23日:6組 22名 / 24日:6組 23名	令和2年度 36名(2日間開催)	
11月3日(水・祝)	燻製をたのしもう！(新企画) 募集 6組 24名	段ボール燻製器の製作や、桜チップを使って燻す方法を取り入れ、手軽に燻製を楽しんでもらった。また、燻製の技法を知ること無駄のない食材の消費を考える機会としてもらった。 応募 38組 148名 / 参加 6組 21名		



実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
11月6日(土) 令和4年 3月6日(日)	畑体験 ～玉ねぎの苗と種いもの植え付け&収穫～ 募集13組50名	(有)笠取ファームの協力により、玉ねぎとじゃがいもの栽培を体験してもらった。11月に「玉ねぎ苗の植え付け」、令和4年3月に「じゃがいもの植え付け」を実施した。参加者に向けて畑の様子をブログで配信した。令和4年4月に玉ねぎの収穫を行い、令和4年6月にじゃがいもの収穫を行う。 応募14組51名／参加11月14組45名、3月9組29名		 
11月14日(日)	おそとでたのしむそば打ち体験 募集5組20名	室内でのそば作りの経験を活かし、野外でも手作りのそばが楽しめるよう工夫するとともに、ふるさとの食文化や手作りの楽しさを体感してもらった。 応募16組67名／参加5組22名	令和2年度0名 (コロナで中止)	 
11月20日(土) 21日(日)	ふるさとを味わおう 募集20日:6組24名／21日:6組24名	(有)笠取ファームの協力によりひき臼を使ったきなこ作りや、杵と臼を使ったもちつきを通して、地域に伝わる昔の道具の使い方や食べ物物の文化に触れてもらった。参加者全員での共同作業は避け、申込グループごとで作ったものを食べてもらう工夫をした。 応募20日:16組65名／21日:18組65名 参加20日:6組22名／21日:6組20名	令和2年度41名(2日間開催)	 
11月23日(火・祝)	秋のピクニック 募集6組24名	施設周辺の紅葉を楽しみながら散策し、お気に入りの葉っぱをみつけて落ち葉ランキングシートを作成し、五感で楽しむ体験をもらった。また焚き火をして笠取産のさつまいもを使った焼きいもも行い、笠取の秋の一日を楽しんでもらった。 応募16組56名／参加5組15名	令和2年度21名	 

実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
12月5日(日) (2回開催)	クリスマスリースづくり 募集 AM:6組 24名/PM:6組 24名	施設周辺の植物など、自然の素材をかしたオリジナルのリース作りをもちょうことで、笠取の豊かな自然に触れ、家族でクリスマスの準備を楽しんでもらった。 応募 AM:19組 64名/PM10組 33名 参加 AM:6組 16名/PM:6組 15名	令和2年度 39名(2日間開催)	
12月12日(日)	ダッチオーブンでケーキをつくろう！(新企画) 募集 6組 24名	クリスマスの時期に合わせて、ダッチオーブンをを使ってパウンドケーキを作った。持参のトッピングでオリジナルケーキにし、家族でアウトドアでのクリスマスを楽しんでもらった。 応募 20組 74名/参加 6組 25名		
12月18日(土) 12月19日(日)	バウムクーヘンをつくろう！ 募集 18日:5組 20名/19日:10組 40名	寒い冬に野外でのバウムクーヘン作りに挑戦することによって、アウトドアの料理の奥深さに触れるとともに、家族で協力し作り上げることでコミュニケーションを深めてもらった。また、炊事棟改修工事のため、組数を減らした。 応募 18日:14組 55名/19日:33組 116名 参加 18日:4組 16名/19日:10組 37名	令和2年度 77名(2日間開催)	
12月25日(土) 12月26日(日)	ミニ門松・鏡もちづくり&もちつき 募集 25日:6組 24名/26日:6組 24名	竹や松葉などを使ってのミニ門松作りと、もちつき、ミニ鏡もち作りを体験することで、古くから受け継がれている伝統や風習に親しみながら、家族で迎春準備を楽しんでもらった。 応募 25日:15組 58名/26日:34組 130名 参加 25日:6組 23名/26日:6組 23名	令和2年度 48名(2日間開催)	
令和4年 1月10日(月・祝)	陶器のランタンづくり 募集 6組 24名	講師が独自開発された切り絵象嵌という技法を用い、筒状のランタンを陶土で作った。一味違った陶芸の楽しさに触れてもらった。 応募 19組 67名/参加 5組 19名	令和2年度 24名	

実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
1月16日(日)	冬のぼかぼかハイキング 募集 5組 20名	アクトパルから東笠取まで、石碑や名木などについて説明を聞きながら地域の史跡を巡るハイキングを行った。地元しいたけ農家や称名寺を見学しながら、地元の方との交流も楽しんでもらった。 応募 7組 20名 / 参加 4組 11名	令和2年度 10名	
1月23日(日)	冬のアウトドアクッキング 募集 6組 24名	地元野菜や鶏肉を材料に、家族でダッチオーブンを使ったクッキングに挑戦することでコミュニケーションを図ってもらうとともに、冬のアウトドアの楽しみ方を知ってもらった。 応募 13組 50名 / 参加 6組 20名	令和2年度 16名 (延期で3月に実施)	
2月11日(金・祝)	陶芸教室 募集 AM:6組 24名 / PM:6組 24名	電動ろくろを体験してもらう「ろくろ編」を実施予定だったが、対面での指導が困難と判断し、入門編に変更した。 陶芸家を講師に迎え、陶芸の基礎(たま作り、ひも作り、板作り)の実演を書画カメラでスクリーンに映し出し、参加者に見てもらったあと、好きな作品を1つずつ作ってもらった。 応募 AM:12組 38名 / PM:17組 61名 参加 AM:4組 12名 / PM:6組 18名	令和2年度 36名(2日間開催)	
2月13日(日) (2回開催)	しいたけの菌打ち体験 募集 AM:6組 24名 / PM:6組 24名	地元農家の方にご協力いただき、菌打ちや育て方の工程を説明をしていただき、笠取の農業・特産品を知るきっかけとした。菌打ちしたほだ木を持ち帰り、家で育て食することで食育にもつながった。 応募 AM:9組 31名 / PM:11組 39名 参加 AM:6組 19名 / PM:6組 22名	令和2年度 35名(2日間開催)	

実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
2月23日(水・祝)	冬の木工教室 募集 AM:6組24名/PM:6組24名	参加者同士が長時間滞在する状況と食事を伴うイベントを避けるため、当初1泊2日の予定を日帰り2回(午前・午後)に変更して募集し、短時間で実施した。 木工指導集団 WOODY MATE UJI の指導のもと、ルドー(すごろく)作りを行った。親子で協力し、完成後は作品で遊んでもらった。 応募 AM:6組22名/PM:6組21名 参加 AM:2組7名/PM:3組10名	令和2年度 27名(2日間開催)	
2月26日(土) 2月27日(日)	手打ちうどん教室(中止) 募集 26日:6組24名/27日:6組24名	うどん打ちの講師による笠取の名水を使ったうどん作りを通じてふるさとの食文化や手作りの良さを学ぶ予定だったが、まん延防止等重点措置が適用され、飲食を伴うイベントを実施することが出来ず、中止した。 応募 26日:8組30名/27日:19組63名 参加 26日:0名/27日:0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
3月19日(土) ~20日(日)	ちびっこキャンプ(中止) 募集 小学校高学年 20名	初対面の子ども達が協力して野外炊飯・工作等を行うことで交流を図るとともに、野外活動の場を創出し、学生ボランティアをリーダーにすることで学生が野外活動の指導力を習得機会とする予定だったが、まん延防止等重点措置が適用され、参加する子ども達や学生の安全を考慮し中止とした。 応募 0名/参加 0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
3月27日(日)	BBQをたのしもう! 募集 6組24名	行楽シーズンに向けたBBQ利用拡大を目指して、調理道具の種類や使い方、火の起こし方や調理方法を説明し、参加者実践してもらった。チキンサンドなど焼き肉以外の料理にも挑戦し、アウトドア料理の幅を広げるきっかけ作りとした。 応募 15組64名/参加 6組24名	令和2年度 16名	

実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
令和3年 ①6月19日(土) ②7月17日(土) ③11月3日(水・祝) ④11月7日(日) ⑤12月11日(土)～12日(日) 令和4年 ⑥3月12日(土)	天文教室(6回) 募集6組24名 ①「天体望遠鏡製作」(中止) ②「夏の星座」 ③「太陽系について知ろう！」 ④「ペットボトルロケット」 ⑤「宿泊天文教室」 ⑥「プラネタリウム体験」	天文ボランティアが講師となり、季節や天文現象にあわせたテーマにそってお話や工作などを交えた、より内容の深い天文イベントを行った。 ①応募 9組 28名 / 参加 0名(コロナで施設休所により中止) ②応募 19組 63名 / 参加 6組 18名 ③応募 18組 52名 / 参加 5組 15名 ④応募 18組 53名 / 参加 6組 18名 ⑤応募 19組 63名 / 参加 6組 21名 ⑥応募 9組 26名 / 参加 6組 18名	令和2年度(5回) ①手作り天体望遠鏡で月をみよう！ 16名 ②準大接近する火星と惑星について知ろう！ 20名 ③星座傘をつくろう！ 18名 ④宿泊天文教室 15名 ⑤ここがすごい！はやぶさ2のお話 16名	
令和3年 ①4月10日(土) ②5月6日(木)中止 ③6月5日(土)中止 ④7月10日(土) ⑤9月25日(土) ⑥10月16日(土) ⑦11月5日(金) ⑧12月4日(土) 令和4年 ⑨1月6日(木) ⑩2月19日(土) ⑪3月5日(土)	グラウンド・ゴルフ大会 募集50名 ●チャンピオン大会 ●3月18日(金)	定期的に主催大会を実施し、グラウンド・ゴルフを通して高齢者の健康促進と、自然とのふれあいやプレーヤー同士の交流の場を提供した。 (全11回+チャンピオン大会) ①応募 54名 / 参加 50名 ②・③コロナで施設休所により中止 ④応募 67名 / 参加 50名 ⑤コロナで施設休所により中止 ⑥応募 33名 / 参加 31名 ⑦応募 41名 / 参加 40名 ⑧応募 28名 / 参加 28名 ⑨応募 51名 / 参加 51名 ⑩応募 66名 / 参加 64名 ⑪応募 54名 / 参加 49名 ●1年の成果を確かめるために年間通算成績上位の方を対象にした大会を開催した。 参加 33名 計 396名	令和2年度(8回) ①～④コロナで中止 ⑤49名 ⑥59名 ⑦59名 ⑧63名 ⑨52名 ⑩50名 ⑪62名 ⑫55名 計 449名	

実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
令和3年 ①6月20日(日)中 止 ②7月11日(日) ③11月27日(土) ④11月28日(日) 令和4年 ⑤3月19日(土) ～20日(日)	アウトドアクラブ(全4回) 募集6組24名 ①「火おこし&アクトパルであそぼう」 ②「火おこし&テント設置&BBQ」 ③「手作りアウトドアグッズ&ピザづくり」 ④「ダッチオーブン料理」 ⑤「冬キャンプ&たき火料理&記念工作」	年5回の連続講座で、初回は火おこしなどのアウトドアの基礎を学び、ステップアップしながら最終回はキャンプ場で宿泊し、自立してアウトドア活動ができることを目指し企画したが、コロナの影響で施設休所や食事を伴うイベントが中止となったことをうけ延期になった日が多く、参加できなかった家族が多かった。最終回は三角広場でのオートキャンプモニターになっていただき、今後のアクトパルでの新たな施設活用の参考とした。 応募 16組 64名 参加①0名②6組 21名③4組 13名④5組 17名⑤3組 10名	令和2年度 ①5月24日(日) 「グラウンド・ゴルフ&アウトドアクッキング」 ②7月12日(日) 「流しそうめん大会&スイカ割り」 ③9月13日(日) 「燻製&陶芸体験」 ④11月29日(日) 「クリスマス・ケーキづくり&楽しみ会」 ⑤2月6日(土)～7日(日) 「宿泊&もちつき&たき火&記念工作」 各回 12組 45名	
令和3年4月8日 (木) ～令和4年3月29日 (火)	陶芸クラブ 募集なし (全42回) 4月末～6月末、8月末～9月末までコロナで施設休所のため中止	月4回～6回程度の陶芸の日を楽しんでもらい、作品は10月の展示会で披露した。利用時の密を避けるために参加者を2班に編成し、分散して来てもらえようとした。 参加 49名・のべ参加 456名	令和2年度 クラブ員 49名 のべ 862名	

(4) 宇治市総合野外活動センター管理運営事業（定款第4条第4号 宇治市総合野外活動センターの運営）

①施設の管理運営

総合野外活動センターの管理運営について、宇治市より指定管理者として指定され、施設の管理運営業務を行った。

②新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として一部の施設の利用を休止した。

利用者には手指消毒・手洗い・うがい・マスクの着用・ソーシャルディスタンスの確保・屋内での換気に協力を依頼した。

宿泊利用者数	11,516人（令和2年度8,401人）
日帰り利用者数	34,385人（令和2年度53,732人）
総利用者数	45,901人（令和2年度62,133人）

2-2. 収益事業

宇治市総合野外活動センターの運営において、体験活動や学校教育活動などを目的とせず、宿泊施設のみの利用や企業の研修利用なども受け入れた。

3. 積立事業

工作棟において開設当初から使用している電気陶芸窯の老朽化が進んでおり、人気の高い陶芸プログラムのサービスを維持するために、新たな陶芸窯を取得する目的で、工作棟の陶芸窯を購入する費用として令和元年度から令和4年度までの4年間で170万円を限度額として積み立てを計画し、令和3年度は約70万円を積み立て、積立合計は168万8,281円となった。

理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

回数	開催日時	番号	件名
第1回	令和3年6月12日	議案第1号	令和2年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和2年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	令和3年度第1回評議員会の招集について
		報告第1号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		報告第2号	令和2年度指定管理者事業報告書の提出について
		報告第3号	令和2年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
		報告第4号	新型コロナウイルス感染症の影響について
第2回	令和3年6月27日	報告第5号	宇治市総合野外活動センター次期指定管理者選定について
		議案第4号	代表理事の選定について
		議案第5号	業務執行理事の選定について
第3回	令和4年3月6日	議案第6号	宇治市総合野外活動センター次期指定管理者への立候補について
		報告第6号	令和3年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第7号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		報告第8号	次期指定管理者公募結果について
		議案第7号	令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		議案第8号	令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について
議案第9号	令和3年度第2回評議員会の招集について		

(2)評議員会

回数	開催日時	番号	件名
第1回	令和3年6月27日	議案第1号	令和2年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和2年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	理事・監事の選任について
		議案第4号	評議員の選任について
		報告第1号	令和2年度指定管理者事業報告書の提出について
		報告第2号	令和2年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
		報告第3号	新型コロナウイルス感染症の影響について
		報告第4号	宇治市総合野外活動センター次期指定管理者選定について
第2回	令和4年3月26日	報告第5号	令和3年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第6号	次期指定管理者公募結果について
		報告第7号	令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		報告第8号	令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について

理事・監事・評議員名簿

(1)理事・監事名簿

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名
代表理事	杉本厚夫
業務執行理事	藤原千鶴
理事	新谷和久
理事	遠藤浩
理事	横川ひとみ
理事	西川治
監事	長村隆造
監事	國谷和正

(2)評議員名簿

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名
評議員	中根光一
評議員	栢木廣和
評議員	黒田忠雄
評議員	森正子
評議員	小槌晶乃

議案第 2 号

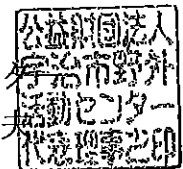
令和 3 年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について

令和 3 年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について、別紙
のとおり承認を求める。

令和 4 年 6 月 2 6 日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚



令和3年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

決 算 報 告 書

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	21,198,592	21,987,548	△ 788,956
未収金	309,388	0	309,388
前払金	29,000	29,500	△ 500
流動資産合計	21,536,980	22,017,048	△ 480,068
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	35,404,690	33,545,589	1,859,101
電気陶芸窯取得積立資産	1,688,281	970,355	717,926
特定資産合計	37,092,971	34,515,944	2,577,027
(3)その他固定資産			
構築物	885,268	1,004,629	△ 119,361
什器備品	93,252	117,133	△ 23,881
その他固定資産合計	978,520	1,121,762	△ 143,242
固定資産合計	88,071,491	85,637,706	2,433,785
資産合計	109,608,471	107,654,754	1,953,717
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	19,961,253	20,599,940	△ 638,687
預り金	1,575,727	1,417,108	158,619
流動負債合計	21,536,980	22,017,048	△ 480,068
2. 固定負債			
退職給付引当金	35,404,690	33,545,589	1,859,101
固定負債合計	35,404,690	33,545,589	1,859,101
負債合計	56,941,670	55,562,637	1,379,033
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	2,666,801	2,092,117	574,684
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,688,281)	(970,355)	(717,926)
正味財産合計	52,666,801	52,092,117	574,684
負債及び正味財産合計	109,608,471	107,654,754	1,953,717

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,391	13,300	△ 9,909
事業収益			
指定管理料収益	56,978,958	55,415,473	1,563,485
受託事業収益	195,388	0	195,388
材料費収益	1,223,650	986,450	237,200
奨励事業収益	80,200	55,800	24,400
活動体験事業収益	1,471,420	1,316,200	155,220
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	75,225,126	71,902,466	3,322,660
経常収益計	135,178,133	129,689,689	5,488,444
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	51,386,285	48,966,157	2,420,128
臨時雇賃金	4,820,610	4,563,792	256,818
退職給付費用	2,827,123	2,446,561	380,562
福利厚生費	7,816,656	8,204,257	△ 387,601
食糧費	43,100	24,900	18,200
旅費交通費	1,933,800	1,976,550	△ 42,750
通信運搬費	1,025,940	962,811	63,129
減価償却費	143,242	143,246	△ 4
消耗品費	3,544,153	2,560,530	983,623
修繕費	5,580,518	4,957,636	622,882
印刷製本費	911,900	969,540	△ 57,640
燃料費	1,527,402	1,072,525	454,877
光熱水料費	9,140,213	8,745,630	394,583
賃借料	2,814,221	2,660,092	154,129
保険料	68,000	61,400	6,600
諸謝金	986,600	956,000	30,600
手数料	944,962	112,784	832,178
委託費	34,432,272	35,172,339	△ 740,067

科目	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	1,466,100	1,291,000	175,100
給料手当	1,822,917	1,750,227	72,690
退職給付費用	133,215	115,283	17,932
福利厚生費	233,453	245,029	△ 11,576
会議費	3,292	2,801	491
食糧費	2,300	1,550	750
旅費交通費	37,740	82,160	△ 44,420
通信運搬費	147,604	105,832	41,772
消耗品費	344,541	330,309	14,232
印刷製本費	0	58,850	△ 58,850
広告料	44,000	0	44,000
賃借料	0	31,968	△ 31,968
保険料	167,650	169,440	△ 1,790
租税公課	224,600	521,700	△ 297,100
手数料	29,040	3,300	25,740
経常費用計	134,603,449	129,266,199	5,337,250
評価損益等調整前当期経常増減額	574,684	423,490	151,194
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	574,684	423,490	151,194
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	574,684	423,490	151,194
一般正味財産期首残高	2,092,117	1,668,627	423,490
一般正味財産期末残高	2,666,801	2,092,117	574,684
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
III 正味財産期末残高	52,666,801	52,092,117	574,684

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	3,391	0	0	0	3,391
事業収益					
指定管理料収益	56,352,191	626,767	0	0	56,978,958
受託事業収益	193,239	2,149	0	0	195,388
材料費収益	1,223,650	0	0	0	1,223,650
奨励事業収益	80,200	0	0	0	80,200
活動体験事業収益	1,471,420	0	0	0	1,471,420
受取補助金等					
受取地方公共団体補助金	69,788,721	779,953	4,656,452	0	75,225,126
経常収益計	129,112,812	1,408,869	4,656,452	0	135,178,133
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	50,801,746	584,539	0	0	51,386,285
臨時雇賃金	4,767,583	53,027	0	0	4,820,610
退職給付費用	2,794,559	32,564	0	0	2,827,123
福利厚生費	7,728,105	88,551	0	0	7,816,656
食糧費	43,100	0	0	0	43,100
旅費交通費	1,912,528	21,272	0	0	1,933,800
通信運搬費	1,014,780	11,160	0	0	1,025,940
減価償却費	143,242	0	0	0	143,242
消耗品費	3,524,201	19,952	0	0	3,544,153
修繕費	5,519,132	61,386	0	0	5,580,518
印刷製本費	901,869	10,031	0	0	911,900
燃料費	1,510,601	16,801	0	0	1,527,402
光熱水料費	9,039,671	100,542	0	0	9,140,213
賃借料	2,783,265	30,956	0	0	2,814,221
保険料	68,000	0	0	0	68,000
諸謝金	986,600	0	0	0	986,600
手数料	943,851	1,111	0	0	944,962
委託費	34,055,295	376,977	0	0	34,432,272

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
管理費					
役員報酬	0	0	1,466,100	0	1,466,100
給料手当	0	0	1,822,917	0	1,822,917
退職給付費用	0	0	133,215	0	133,215
福利厚生費	0	0	233,453	0	233,453
会議費	0	0	3,292	0	3,292
食糧費	0	0	2,300	0	2,300
旅費交通費	0	0	37,740	0	37,740
通信運搬費	0	0	147,604	0	147,604
消耗品費	0	0	344,541	0	344,541
広告料	0	0	44,000	0	44,000
保険料	0	0	167,650	0	167,650
租税公課	0	0	224,600	0	224,600
手数料	0	0	29,040	0	29,040
經常費用計	128,538,128	1,408,869	4,656,452	0	134,603,449
評価損益等調整前当期經常増減額	574,684	0	0	0	574,684
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期經常増減額	574,684	0	0	0	574,684
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益					
經常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 經常外費用					
經常外費用計	0	0	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前					
当期一般正味財産増減額	574,684	0	0	0	574,684
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	574,684	0	0	0	574,684
一般正味財産期首残高	2,092,117	0	0	0	2,092,117
一般正味財産期末残高	2,666,801	0	0	0	2,666,801
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	0	0	0	50,000,000
指定正味財産期末残高	50,000,000	0	0	0	50,000,000
III 正味財産期末残高	52,666,801	0	0	0	52,666,801

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	33,545,589	2,881,861	1,022,760	35,404,690
電気陶芸窯取得積立資産	970,355	717,926	0	1,688,281
小 計	34,515,944	3,599,787	1,022,760	37,092,971
合 計	84,515,944	3,599,787	1,022,760	87,092,971

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
小 計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	35,404,690	—	—	(35,404,690)
電気陶芸窯取得積立資産	1,688,281	(0)	(1,688,281)	—
小 計	37,092,971	(0)	(1,688,281)	(35,404,690)
合 計	87,092,971	(50,000,000)	(1,688,281)	(35,404,690)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	1,193,616	308,348	885,268
什器備品	1,298,400	1,205,148	93,252
合 計	2,492,016	1,513,496	978,520

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	宇治市	0	74,273,126	74,273,126	0	—
	京都府	0	952,000	952,000	0	—
合 計		0	75,225,126	75,225,126	0	

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は次のとおりである。

種類	法人等の名称	住所	資産総額(単位:円)	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額(単位:円)	科目	期末残高(単位:円)
						役員の兼務等	事業上の関係				
当該公益法人を支配する法人	宇治市	京都市 宇治市	—	—	—	—	宇治市総合野外活動センター管理運営業務の受託契約の締結	業務受託費の受取	57,174,346	—	—

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

業務受託費については、市場価格を勘案し一般的取引条件と同様に決定する。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
	基本財産計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産	退職給付引当資産	33,545,589	2,881,861	1,022,760	35,404,690
	電気陶芸窯取得積立資産	970,355	717,926	0	1,688,281
	特定資産計	34,515,944	3,599,787	1,022,760	37,092,971

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	33,545,589	2,881,861	1,022,760	0	35,404,690

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	794,921
	普通預金	京都中央信用金庫 宇治支店	運転資金として	20,403,671
	未収金	京都府 宇治市	運転資金として	114,000 195,388
	前払金	(有)ホケン (社福)京都府社会福祉協議会	公益目的事業に関する保険料 公益目的事業に関する保険料	20,000 9,000
流動資産合計				21,536,980
(固定資産)				
基本財産	定期預金	京都信用金庫本部	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,000,000
		京都中央信用金庫石田支店		10,000,000
京都やましろ農業協同組合東宇治支店		10,000,000		
京都銀行宇治支店		10,000,000		
大和ネクスト銀行		10,000,000		
特定資産	退職給付	普通預金	退職金の支払い財源として積み立てている	
	引当資産	京都中央信用金庫 宇治支店		35,404,690
その他固定資産	電気陶芸窯取得積立資産	普通預金	公益目的事業の積立資産であり、特定資産取得資金として管理している	
		京都中央信用金庫 宇治支店		1,688,281
	構築物	幼児向け遊具	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	738,764
		幼児向け遊具	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	146,504
		ノートパソコン	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1
		ノートパソコン	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1
		七宝焼講習用電気炉	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1
什器備品	電気窯	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1	
	冷蔵庫	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	93,248	
固定資産合計				88,071,491
資産合計				109,608,471
(流動負債)				
	未払金	宇治市	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する概算指定管理料及び補助金の返戻分	6,459,916
		職員	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に従事する職員の給与等	3,675,181
		京都南年金事務所	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する福利厚生費	453,346
		NTT	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する通信運搬費	38,610
		正美堂	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に関する消耗品費	297,308
		泉陶料	公益目的事業に関する消耗品費	4,400
		城南教材	公益目的事業に関する消耗品費	52,500
		三井田商事	公益目的事業及び収益事業等に関する消耗品費	27,319
		内田工務店	公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費	375,650
		近建ビル管理	公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	1,933,887
		モクラボ	公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	460,900
		キャンパルジャパン	公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	451,440
		堂坂ジェットクリーナー工業	公益目的事業及び収益事業等に関する修繕費及び委託費	2,969,588
		新進堂印刷	公益目的事業及び収益事業等に関する印刷製本費	61,600
		南山城複写センター	公益目的事業及び収益事業等に関する印刷製本費	389,400
		晴喜商事	公益目的事業及び収益事業等に関する燃料費	274,340
		関西電力	公益目的事業及び収益事業等に関する光熱水料費	808,919
		小山商会	公益目的事業及び収益事業等に関する賃借料	230,656
		ダスキン山城	公益目的事業及び収益事業等に関する賃借料	1,428
		ボランティア	公益目的事業に関する諸謝金	133,000
		笠取ファーム	公益目的事業に関する委託費	40,000
		アムス・セキュリティサービス	公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	29,480
		京阪ビルテクノサービス	公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	400,862
		木柵電気工業	公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	19,800
		キョーカン	公益目的事業及び収益事業等に関する委託費	40,000
		役員	管理業務に関する役員の報酬	102,400
		日本郵便	管理業務に関する通信運搬費	48,127
		KDDI	管理業務に関する通信運搬費	8,795
		朝日ネット	管理業務に関する通信運搬費	30,250
		読売センター	管理業務に関する消耗品費	5,650
		洛南タイムス	管理業務に関する広告費	44,000
		宇治税務署	管理業務に関する租税公課	94,500
役員	本人負担分社会保険料及び所得税	314,167		
宇治市	3月分センター施設使用料	1,261,560		
流動負債合計				21,536,980
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	35,404,690
固定負債合計				35,404,690
負債合計				56,941,670
正味財産				52,666,801

監査報告書

令和4年5月26日

公益財団法人宇治市野外活動センター
代表理事 杉本 厚夫 殿

公益財団法人宇治市野外活動センター

監事 長村隆造

監事 國谷和正

私たちは、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度における会計及び業務の監査を行った。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続を用いて、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財産目録の適正性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにその附属明細書並びに財産目録が公益財団法人宇治市野外活動センターの財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 事業報告は法令又は定款に従い公益財団法人宇治市野外活動センターの状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認める。